令和4年度 第2回 見附市国民健康保険運営協議会 会議録(要旨)

1. 日 時 令和5年2月15日(水) 午後1時30分開始
2. 場 所 見附市保健福祉センター2F 会議室
3. 会議録署名委員の指名 1号委員 加藤委員
4. 報告事項
 - ① 令和4年度見附市国民健康保険事業特別会計決算見込みについて
 - ② 令和5年度見附市国民健康保険税率改定検討結果について
 - ③ 令和5年度国保制度の主な変更点について
5. 審議事項
 - ① 令和5年度見附市国民健康保険事業運営方針等について
 - ② 令和5年度見附市国民健康保険事業特別会計当初予算案について
6. 出席者
 - 1号委員 小此鬼委員、岩渕委員、小川委員、加藤委員
 - 2号委員 山谷委員、井口委員、山田委員、大原委員
 - 3号委員 岡村委員、大原委員、高橋委員
 - 4号委員 竹井委員、新井委員
 - 見附市 池山課長、田伏課長補佐、井口係長、野崎係長、堅田主事
7. 欠席者 田隈委員(3号委員)、石橋委員(4号委員)
8. 散会時間 午後2時30分
9. 会議概要 以下のとおり

岡村会長	只今より、令和4年度第2回見附市国民健康保険運営協議会を開催いたします。 はじめに、健康福祉課長よりご挨拶をいただきます。
池山課長	健康福祉課長の池山です。開会に先立ちご挨拶申し上げます。本日はお忙しい中、令和4年度第2回見附市国民健康保険運営協議会にご出席いただきありがとうございます。また日頃より市の保健衛生の推進に特段のご配慮を賜り厚く御礼申し上げます。さて、日本で新型コロナウイルスの流行が始まってから、4年目に入っております。この間、何度かの感染の波を繰り返し、ウイルスの株は次々に変異し、国と自治体はワクチン接種等で対策を打ってきたわけですが、ここにきてコロナをめぐる状況も変わりつつあります。まず3月13日からは、マスク着用は基本的に個人の判断に委ねられ、5月8日からは、感染法上のコロナの分類を2類から5類に引き下げるといふものであります。また正式な決定ではありませんが、ワ

	<p>クチン接種についても、公的な負担を残しつつ、秋冬に向けて接種を実施するという情報も入ってきております。コロナに翻弄され続けてきたこの数年間でしたが、市といたしましては、引き続き地元医師会等の関係機関と緊密に連携を図りながら、安全、安心な日常生活を取り戻せるよう取り組んで参りたいと考えております。</p> <p>さて、本日の議題につきましては次第にありますように報告事項が3件、審議事項が2件ございます。報告事項として、「令和4年度見附市国民健康保険事業特別会計決算見込みについて」、「令和5年度国民健康保険税率改定検討結果について」、また、出産育児一時金の増額など「令和5年度国保制度の主な変更点について」、それぞれご報告させていただきます。審議事項の1点目として、「令和5年度見附市国民健康保険事業運営方針等について」、2点目は、来月3月2日から見附市議会3月定例会が開会いたしますが、そこに議案として「令和5年度国民健康保険事業特別会計の予算案」を提出させていただくことになっており、事前に委員の皆様にご説明させていただきますので、忌憚のないご意見をいただけたらと思っております。その他といたしまして現在、都道府県単位で始まっている保険料水準の統一化の動きにつきまして、情報提供させていただきます。それでは本日はよろしくお願いたします。</p>
<p>岡村会長</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>本協議会は「審議会等の会議の公開に関する指針」に基づき、傍聴希望者がいる場合、傍聴を認めております。本日の会議の傍聴希望者はおりませんでしたのでご報告します</p>
<p>岡村会長</p>	<p>それでは、ここで会議成立のご報告をいたします。</p> <p>本日の会議は、3号委員の田隈委員、4号委員の石橋委員が欠席されておりますが、国保運営協議会の委員15名中、13名の出席で、半数以上の出席を得ておりますので、本協議会規則第3条により会議が成立しておりますことをご報告いたします。</p> <p>次に、会議録署名委員を指名いたします。</p> <p>会議録署名委員には、1号委員の加藤委員を指名いたしますのでよろしくお願いたします。</p>
<p>岡村会長</p>	<p>それでは次第3の「報告」にはいります。</p> <p>「①令和4年度見附市国民健康保険事業特別会計決算見込みについて」、 「②令和5年度見附市国民健康保険税率改定検討結果について」、 「③令和5年度国保制度の主な変更点について」 の3点について一括で事務局より説明を求めます。</p>
<p>井口係長</p>	<p>それでは、報告事項1番「令和4年度見附市国民健康保険事業特別会計決算見込みについて」から説明していきます。資料1をご覧ください。また項目説明の資料が資料5-2にありますので併せてご覧ください。1月の</p>

時点で作成した今年度の決算の見込みになります。まず左側の歳入をご覧ください。

各項目の左にある番号で1番から15番が国民健康保険税の収入見込み額になります。これは国保加入者から納めてもらう保険税ということになります。現在の調定額に対し現年度分は収納率を96.5%、滞納繰越分は30%として見込んだ数字になり、合計で約5億7,500万円の見込みになります。国保税の決算見込額は予算額に対して多くなっていますが、歳出54番の国保事業納付金を納付できるように国保税予算を設定しており、それに対しては、ある程度プラスが見込めそうな状況です。

19番の県補助金は見込額を記載しています。県補助金は20番から24番の項目に分かれています。全て県からもらえる補助金ということです。

27番一般会計繰入金は約3億2,700万円。市の一般会計から国保特別会計に繰り入れるもので、このうち28、29、32、33番は確定額になります。

歳入合計見込額は約36億2,500万円となります。

次に右側の歳出をご覧ください。歳出は確定額が54番の国保事業納付金だけであり、それ以外は予算と同額か見込み額を記載しています。歳出に関しては予算額を超えて支払う事はありませんので歳出の最大見込になります。38番の保険給付費は大まかに言って医療費にあたる分になります。55番の保健事業費は特定健診の費用や人間ドック、脳ドックの費用などになります。

歳出見込み額は約34億6,800万円になります。

歳入歳出を差引きした形式収支では約1億5,700万円のプラスとなります。歳入の35番で繰越金が約1億4,400万円でしたので令和4年度単年でみると差し引き約1,300万円の黒字の見込みとなります。見附市では一般会計繰入金も法定内ののみで、決算見込みも黒字の見込みですので、令和4年度も健全な経営ができたのではないかと考えています。

次に報告事項2番の令和5年度国民健康保険税率改定検討結果について説明します。資料2をご覧ください。

年明けに県から来年度の国保税率を決めるのに必要な数字が提示されました。これをもとに検討し、税率を改正せずに据え置くこととしましたので説明いたします。

1番【概要】をご覧ください。県が医療給付費等に充てるため市町村から納付金を徴収します。この納付金を納められるだけの税収を確保できるよう毎年税率を検討します。R5税率は、R4と変わらず以下の通りです。

2 番【県提示の国保税必要額】は前年度から約 200 万円減りまして約 6 億 4,200 万円です。

【税率改正の検討】①をご覧ください。今の税率を据え置きにした場合の試算では不足は生じずに約 780 万円の余裕があるという結果になりました。しかし、これは所得が令和 3 年と変わらないという条件での試算になります。そこで②をご覧ください。これは国保加入者の所得が 10%減少した想定で試算したものになります。それだと約 2,370 万円不足するという結果になりました。また、もっと減少が大きく 2 割所得が減少した場合は約 5,500 万円の不足という試算結果が出ています。

このように、下振れリスクに備えることも必要という中ではありますが、現在国保は基金で約 2 億円保有していますし、先ほど説明しました決算による繰越もある程度見込まれておりますので、仮に所得が大きく減少して税収が減少してもある程度対応が可能だということなどを勘案して、令和 5 年度国保税率は改正を行わずに据え置きとしたいと思えます。

最後に報告事項の 3 番、令和 5 年度国保制度の主な変更点についてです。資料 3 をご覧ください。

まず一つ目ですが、「出産育児一時金の増額」です。これは少子化対策の一つとして、令和 5 年 4 月から出産育児一時金が現行の 42 万円から 50 万円に増額されるものです。見附市国民健康保険条例を 3 月議会で改正予定です。

二つ目ですが「国保税の賦課限度額の引き上げ」です。令和 3 年度は厚労省方針により新型コロナウイルス感染症の影響による景気の動向などが不透明であることなどから見直しは行わず据置となりましたが、それ以外は近年、ほぼ毎年国保税の賦課限度額、軽減判定所得が見直されてきました。令和 5 年度は後期高齢者支援金分の賦課限度額が 22 万円（現行 20 万円）に引き上げられる予定です。

三つ目ですが「国保税の軽減判定所得の基準変更」です。こちらも「賦課限度額」と同様に、ほぼ毎年見直されてきました。令和 5 年度は、5 割軽減の対象となる世帯の軽減判定所得の判定において、被保険者数に乗ずる金額を 29 万円（現行 28.5 万円）に、2 割軽減の対象となる世帯の軽減判定所得の判定において、被保険者数に乗ずる金額を 53.5 万円（現行 52 万円）にそれぞれ引き上げられる予定です。

軽減世帯数は現在の 3,061 世帯から 3,099 世帯となり、38 世帯（5 割軽減 11 世帯増、2 割軽減 27 世帯増）、982 千円の軽減額増の見込みです。

報告事項については以上です。

岡村会長

ただいまの事務局の説明に対しご質問、ご意見のある方はお願いしま

	す。
竹井委員	56 番「特定健康診査等」に特定健診、特定保健指導の費用が含まれ、57 番「国保普及事業」に人間ドック、脳ドック費用が含まれているということでしょうか。
池山課長	そのとおりです。
竹井委員	前年度と比べて「特定健康診査等」、「国保普及事業」がアップしていますが、何か特別な取り組みがあったのか要因について教えてください。
井口係長	前年度コロナの関係で落ち込んでいた受診率が向上したことによるものです。
竹井委員	同様に「国保ヘルスアップ事業」についてもアップしていますが、取り組みについて教えてください。
井口係長	R4 で新規申請した事業があり、取り組みを強化しました。実績に応じて翌年度返還が生じる見込みです。
竹井委員	特定健診等の受診者が増えたことについて、働きかけなどはされましたか。
野崎係長	コロナで R2 は減少しましたが、R3、R4 と少しずつ伸ばしてきています。受診勧奨を効果的に行うため、対象者の選定等、工夫して実施しました。
岡村会長	次に、次第 4 の審議に移ります。 なお、審議事項の①、②は、いずれも見附市長からの諮問事項となっておりますので、審議を経て、市長へ答申することとなります。 それでは、①「令和 5 年度見附市国民健康保険事業運営方針等について」、②「令和 5 年度見附市国民健康保険事業特別会計当初予算案について」、一括で事務局の説明を求めます。
井口係長	資料 4 をご覧ください。毎年この 2 月の運営協議会で次年度の運営方針についてご承認をいただいているところです。令和 5 年度においても、これまでと同様にここに記載のとおり 1 番の財政安定化対策から 6 番の広報活動の推進についての 6 項目を重点的に進めていくことといたします。 まず、1 番「財政安定化対策」については適正な税率の設定などを経て財政の安定運営に努める旨記載しています。 2 番「保険税の収納対策」ですが、こちらは税務課で実施しております。 内容としては例年と同じ内容のものですが、④に記載のとおりペイペイなどスマホを使ったキャッシュレス決済での納付などの取り組みも始まっていることにより被保険者の利便性が図られています。 令和 3 年度の国保税収納率は現年度分が 97.31%で 20 市中 7 位、滞納繰越分は 33.08%で 20 市中 2 位という高水準になっておりますので例年と同様の内容にはなりますがこれらの収納対策を継続していきます。 次に 3 番「適用の適正化対策」においては日本年金機構提供の年金情報により国保の手続きを行っていない方に対し資格喪失や加入の手続きを

促すこと、また所得未申告者に対し申告勧奨し正確な所得の把握に努めることを記載しています。

次に4番「医療費適正化の推進」ですが①から③については専門職員のレセプト点検等による医療費の適正化を図ること、④⑤で医療費通知やジェネリック医薬品の差額通知の送付などによる適正化の取り組みについて記載しています。

次に5番「保健事業の推進」についてです。

①第2期データヘルス計画に基づく効率的な保健事業の実施について記載しています。また、第2期データヘルス計画は令和5年度で計画期間が終了するため、令和6年度からの6か年を計画期間とする新たな計画を来年度策定します。

②は、人間ドックと脳ドックの助成事業の実施です。引き続き人間ドックは市外4箇所の健診機関と、脳ドックについても見附市立病院をはじめ4か所の健診機関と委託契約を結び実施をする予定です。

次に6番「広報活動の推進」についてです。

①、②として、広報みつけ、年2回発行している『国保 健康だより』、見附市ホームページを活用する他、制度を説明したチラシを送付することで、わかりやすく情報をお伝えしていきたいと考えています。

最後に、7番の「会議等の予定」ですが、表左側が運営協議会関係になります。

例年どおり、8月と2月に2回の開催を予定しております。またデータヘルス計画策定の関係で、もう1回開催させていただくことになるかもしれませんが、その際はご案内をいたしますのでよろしくお願いいたします。

以上で令和5年度見附市国保運営方針案の説明を終わります。

続いて、審議事項2番、令和5年度 国民健康保険事業特別会計の予算案について説明いたします。資料5をご覧ください。

この予算案は、3月市議会に提出いたしますが、それに先立ち、この運営協議会でご説明させていただくものです。なお、歳入歳出それぞれの項目についての説明は資料5-2に記載しておりますので、そちらもあわせてご覧ください。

はじめに、歳入について説明します。

1番の国民健康保険税についてですが、被保険者数の減少などを考慮し前年度に比べ約1,200万円の減の約5億2,200万円となっています。

19番県補助金のうち、20番普通交付金は見附市が支払った保険給付費を県が全額交付するというものになります。歳出の40番から52番がこれに対応するものとなります。4,100万円ほど増の見込みです。

	<p>続いて 21 番保険者努力支援交付金について、これまで運営協議会でも話題になることがあったかと思いますが、今回簡単ではありますが、制度の説明等をさせていただきます。本日配布資料の【資料 5-3】をご覧ください。</p> <p>1. 制度の概要として、医療費適正化に向けた取組等の指標について、その達成状況に応じて交付金を交付するインセンティブの制度で、毎年、細かな制度変更があるため、総得点、評価項目、配点等は違っています。</p> <p>2. これまでの実績として、R2 から R5 までの得点、県内 20 市町村内順位、交付金額を記載しています。</p> <p>3. 得点状況を記載しております。水色セルは得点率 50%以下の項目、R4 から R5 のなかでよくなった項目を緑色、悪くなった項目を薄いオレンジ色にしてあります。</p> <p>4. 評価として、○R2、R3 で得点できなかった①「特定健診受診率」、④「がん検診受診率・歯科検診受診率」は、R4、R5 で得点できた。○⑧「後発医薬品の促進の取組・使用割合」は、市立病院の院外処方化により改善し、R4、R5 と得点できている。○R5 の①、②、④、⑨は新型コロナの影響を踏まえ R1 実績について評価している。○R4 から R5 では、④歯科検診受診率が全自治体の上位 3 割他で得点、⑧R3 後発医薬品使用割合が前年度より減少で得点できず。○得点できていない②「特定保健指導実施率」、③「メタボ該当者及び予備群の減少率」の他、①「特定健診受診率」、⑧「後発医薬品の促進の取組・使用割合」の対策が必要と考えています。</p> <p>現在、20 市中の順位も上位にありますが、引き続きしっかり得点を取っていけるように取組をしていきたいと考えております。</p> <p>次に歳出について説明します。右側をご覧ください。</p> <p>38 番総務費は職員給与を含む事務費になります。39 番から 55 番は保険給付費です。保険給付費も歳入 20 番の普通交付金と同様約 4 千万円の増となっています。</p> <p>56 番の国保事業納付金は先ほど国保税率検討のところで説明しましたように県への納付額が減少しており、前年度に比べ約 700 万円の減となっています。他、ご覧のとおりです。</p> <p>以上、令和 5 年度国保特会の予算規模としましては、歳入歳出ともに 34 億 7,600 万円で、前年度と比べ 4,000 万円の増額となっています。</p> <p>以上で説明を終わります。ご審議をお願いします。</p>
岡村会長	ただいまの事務局の説明に対しご質問、ご意見のある方はお願いします。

新井委員	保険者努力支援制度について、県内 20 市中 3 位ということで努力されていると思いますが、指標はどの年度を評価していますか。
井口係長	実施しているかどうかを見る指標については今年度を評価し、健診受診率のように過去の実績を見る指標については、2 年前の実績を見るものが多いですが、項目ごとに違っています。
新井委員	特定保健指導について、得点できていない状況があり課題ということですが、R3 実績がわかれば教えてください。
野崎係長	法定報告では、R2 と同じくらいで 41.4%程度です。
新井委員	これだけの実績でも得点できないのですね。
田伏 課長補佐	R4、R5 については、R2 がコロナの影響が大きい年だったため R1 実績を見えています。R1 は前年度 (H30) から実績が減少しており、それを R5 も引き続き評価している形となっています。
野崎係長	H30 までは着実に伸ばしてきましたが、R1 で少し下がり、そこから以前の水準に追いついていない状況ですので、引き続き課題として取り組んでいく必要があると捉えています。
竹井委員	R5 予算のところで被保険者数の減少という話がありましたが、何人から何人に減少する見込みですか。
井口係長	R4、7,200 人から R5、7,000 人と見込んでいます。
竹井委員	特定保健指導について、健診の時に同日の指導を実施していますか。
野崎係長	実施しております。
竹井委員	人間ドックでも指導を実施していますか。
野崎係長	それも含めた委託契約を締結し実施しております。
竹井委員	人間ドックでの実績が含まれていない指標等も他では見受けられるようです。
井口係長	市の資料では実績として含まれている値を使用しています。
竹井委員	健保組合では、半ば強制的に近いような形で保健指導を受けてもらっていますが、医療機関にかかっていなくて数値が高い人が対象ですので、74 歳まで医者にかからず健康でいましょうと働きかけています。退職する人も国保に加入することになるので健診受診を勧めています。商工会さん、協会けんぽさんからも事業所に働きかけていただけるとよいと思います。
岡村会長	他にご意見が無いようでございますので、審議事項の①、②については原案のとおり承認し、答申することで、ご異議ございませんでしょうか。
	(異議なし)
岡村会長	ご異議が無いようですので、原案のとおり答申することといたします。それでは「7 その他」として、事務局のほうで何かあればお願いします。

井口係長	<p>その他として【資料6】「保険料水準統一の動きについて」をご覧ください。</p> <p>保険料水準統一の動きについては、平成30年度からの制度改革の一環として、国は、全都道府県に対して保険料水準の統一を進めるよう求めています。現在、各市町村の医療費に基づき、保険料水準が決定していますが、全県の医療費に基づき統一した保険料とする方向で検討されています。見附市は医療費指数が県平均より低いため、保険料水準の統一により負担が少し増える可能性があります。また、医療費を下げる取組を実施している市町村へは、インセンティブとしての交付金の交付等、しっかり評価をするよう県に要望しています。</p> <p>県は今年度中に、実施に向けての方向性を決定する方針でしたが、意見集約に時間がかかり翌年度以降にずれ込むとの連絡があったところです。県提示のおおまかなスケジュールは、各市町村の医療費反映部分を令和8年度納付分から段階的に縮小し、令和12年度納付分で統一するというものです。</p> <p>今後の動きについても、運営協議会その他でお知らせしていきます。</p>
岡村会長	<p>それでは以上を持ちまして会議を終了させていただきます。ありがとうございました。</p> <p style="text-align: right;">(終了：午後2時30分)</p>

見附市国民健康保険運営協議会 会長

署名

見附市国民健康保険運営協議会 会議録署名委員

署名